

私の生活の一部伝書鳩飼育 第3弾

平成30年9月吉日



皆さんこんにちは、今回で第3弾目ですので少し冷静に鳩のことについて述べさせていただきます。競争については後ほど述べさせていただきますが、皆さん鳩と言ってもどのくらいの種類がいると思いますか数十種類はいると思いますよ。吉川・越谷市界隈を見渡しますと 先ずはドバト（カワラバト）が目につきます、キジバト、シラコバト 位いしか見かける事ができません。シラコバトは埼玉県の県鳥で過去には越谷市内に沢山生息していましたが現在余り見かけなくなりました、今では越谷市立野鳥の森に行かないと見られませんね、入場料100円です。

最近ではテレビ番組でしか見かけませんが 昔は鳩が唯一通信用に使われていたことをご存じだと思います 今では手品の道具や冠婚葬祭・テレビ出演にも使われています 昭和39年の東京オリンピックの開会式での1万羽の鳩が放された映像は今でも覚えていますそれはそれは迫力がありました。 私が知っている限りでは、原鳩はカワラバトから色々と改良を重ね、古くは世界の歴史・日本の歴史と共にあるのではないのでしょうか昔は通信の手段として使われ新聞社

の屋上でも飼育されていましたが今ではたまにテレビの時代劇にも登場するぐらいでしょうか。

戦争当時 戦地で移動しながら鳩を自動車で飼育し唯一の通信の手段にしていました勿論無線機はあったとしてもです。移動した場所に鳩がもどる停車している場所に慣れてしまうのですから不思議ですそのことは最初に触れた私が鳩レースをするきっかけになったことにもちょっと似ています 最近テレビ・雑誌などで 鳩飼育の話し・鳩レースの話など取り上げる事がありますが非常に嬉しいですね。昨年でしたかタケシのドキュメンタリー番組でお笑いタレント数人と鳩とが飼い主のところに帰還する番組がありました。非常に面白かったですし笑えました。もちろんのこと鳩は飛んで帰る。 お笑いタレントはお金を持たされませんからヒッチハイクなど色々な手段で帰還場所に帰る番組。放鳩地は仙台で少し辺鄙な場所から帰還場所は越谷市平方（鳩飼 K 氏）です。鳩は一度も仙台で放した事が無い初めての場所 タレントはいい年ですから色々な方法（無賃）で帰る。そんな番組でした 結果はむろん鳩ですが、まあまあいい勝負出した。鳩は夕方帰還し タレントは夜遅くなって帰って来ました。タレントが途中様々な手段で帰り 笑える内容がとても面白かったです。今回登場するハル3号は鳩レースの中で最もメジャーな大会700K 埼玉地区ナショナルレースで参加羽数5735羽中第2位の成績です。この鳥にも沢山の思いがあります。

♂方は春日部の友人で T・I 氏 ♀方は私が作出した鳥です。I 氏は当時（平成16年）体調が思わしくないのので 鳩レースに熱が入っていないようでした。私がかちょっと気合を入れてやろうと思い 俺にあんたの鳩使わせろ なんて言ったことを覚えています。I 氏と私は同級生であり 彼は高校時代から鳩レースではかなり成績上位でしたし良い鳥を沢山持っていましたよ。俺に使わせろ なんて言いましたが 彼は中々の変わり者でも有名人で、とっつきにくい性格でしたからね 私のレース経験は浅かったけれども、まあまあ成績までできていたので彼も私に使わせる気持ちになったのでしょうか。ハル3号の父親を借りて来て 母方東京の K・K 氏の系統の鳥を翌年交配して出来た鳥です。その年の秋・春共レースに参加して 春レースで700K 地区ナショナルレースに於いて上記のような成績が生まれました。 **名付けた名前がハル3号です**

この結果が T・I 氏を勇気付けの要因になったのも有ると思います、また彼が鳩レースを続けるきっかけになった事は言うまでもありません。あの頃に尾ヶ井さんがいなければ私はどうなっていたのかと本人が申しておりました。・・・笑い。あれから T・I 氏は今でも元気に鳩レースを楽しんでいます。 笑い…………